

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども支援ハウスRacucuru			
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 1日		～	令和7年 5月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17人	(回答者数)	16人
○従業者評価実施期間	令和7年 5月 1日		～	令和7年 5月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 7月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの充実	毎月スタッフミーティングを行い、活動プログラムを職員全員で決めている。児童に、やりたいことや活動に取り入れたいことを聞き取りをしている。	日頃からやりたいことノートを使用し、児童の希望や、必要な活動プログラムを意識し、記録しておく。また、振り返りの際にスタッフ同士で共有しておく。
2	保護者との面談や交流が来ている	保護者からの相談をしやすいように、午前中はいつでも来所できるようにしている。ラインで、やりとりも都度報告し、児童の活動の様子を伝えている。	送迎時や、連絡の際に、保護者の様子や変化にも気を、こちらから声を書けるよう意識する。
3	できることをもっとできるように、得意を伸ばす支援	スタッフと一緒に活動の中で、できることやできるようになったことを、さらに得意にできるように支援している。	いろいろな体験を沢山経験できる様に、スタッフもできることを増やす。そして深堀する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの改装	賃貸の為、また事業所も広くない為、バリアフリーの改装が厳しい。	出来る範囲で、バリアフリーにを検討する。（スロープや手すりの設置）
2	ひとりになれる部屋やクールダウンのための部屋が準備できない。	事業所の部屋の作り上、クールダウンできる部屋として準備が出来ない	環境を整理し、クールダウンできる場所を設ける。
3	保護者への各マニュアルの周知が出来ていない	説明会や、父母会を頻繁に開催していない	父母会の回数を増やしたり、研修の状況をネットやラインで周知する